

第3学年 社会科学習指導案（公民的分野）

日時 平成25年10月22日（火）

場所 盛岡市立見前南中学校 3年3組教室

生徒 男子20名、女子18名、計38名

指導者 千葉 孝行

1 単元名 暮らしと経済 （東京書籍 新しい社会 公民 P106～113）

2 単元の目標と評価基準

（1）単元の目標

人間は生産と消費を繰り返しながら、生活の維持・向上を目指しているということを、生徒の身近な経済生活である消費を中心に理解させる。

（2）単元の評価基準

社会的事象への関心 ・意欲・態度	経済活動が我々の社会生活に様々な面で密接に関わっていることを踏まえながら、経済に関する諸問題に着目させ、その問題を自ら解決しようとしている。
社会的な思考・判断 ・表現	経済に関する事象や課題について、対立と合意、効率と公正の考え方と関連付けて思考・判断し、その過程をまとめ、発表しようとしている。
資料活用の技能	写真や統計資料を活用しながら適切な情報を集め、そこから経済についての諸問題を読み取ることができる。
社会的事象についての知識・理解	経済活動の意義（生産と消費を繰り返しながら、生活を維持・向上させようとしていること）について理解し、知識として身に付けている。

（3）単元における言語活動

社会科における言語活動は、課題解決学習そのものといってよい。そこで、本単元では、写真や統計資料などを活用しながら、経済についての諸問題を読み取り、課題を設定する活動からスタートする。そこから、予想し、根拠を明確にしながら論理立ててまとめ、交流によって深めていくことが活動の中心となる。

3 単元について

（1）子どもの実態

社会科の授業全般に、自ら意見を発表する生徒は少ない。これは、これまで受動的な授業が少なくなかったため、主体的に授業に参加する場面をつくることができななかったことが影響していると考えられる。さらに、地理的分野や歴史的分野では、内容が自分の社会経験や体験とかけ離れている部分も多く、なかなかイメージがもてなかったと考えられる。ただ、断片的な知識や用語を知っていたり、ニュース等で聞いたことがある生徒は多い。また、一問一答の問題などには意欲的に取り組み、楽しみながら用語を覚えようという雰囲気はある。

（2）教材について

本単元の内容は、学習指導要領に以下のように位置づけられている。

公民的分野 2 内容 (2) 私たちと経済 ア 市場の動きと経済 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、・・・
--

本単元では、身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させることがねらいとなって

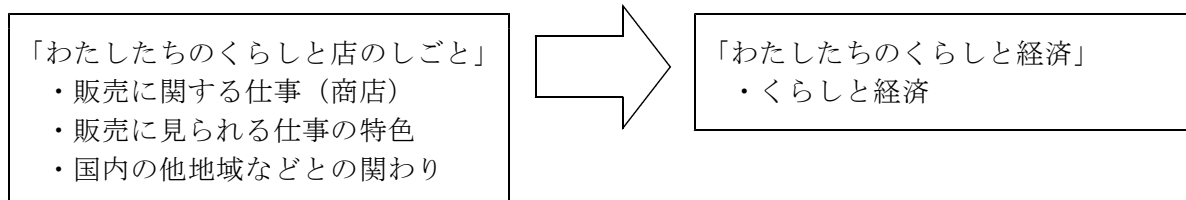
いる。経済活動の意義については、人間生活の維持・向上を目指しているということであるから、そのことを生徒にとって一番身近な経済活動である消費活動を中心に理解させたい。

そのねらいを達成させるために、限られた収入の中でどのように消費生活を送っていくか考えさせるような教材でなければならない。したがって、自己の消費生活の見直しを通して、クレジットカードが世の中に与える影響を考えさせたり、より安全で安い商品を購入するための工夫を考えさせる教材を取り扱うこととする。

〈教材の関連と発展〉

第3学年

中学校（公民的分野）



(3) 指導について

生徒の実態と本単元で取り扱う教材をふまえて、実生活をイメージしながら、多様な意見を出させる授業を展開したい。課題解決的な学習を展開することにより、生徒の思考にそった授業展開を意識したい。また、全員が活動できる場面（今回はこれをグループ学習と位置づける）を作り、全生徒が能動的に授業に参加した（自己有用感）というイメージを持たせたい。

4 単元の指導計画と評価計画（全4時間）

次	時	主な学習活動	評価	主な言語活動
第1次	1	(1) コンビニエンスストアの経営者になってみよう ・架空の町にコンビニエンスストアを開店するとしたら、どの場所がいいのかを根拠をもとに考える。	関 人間は生産と消費を繰り返しながら、生活の維持・向上を目指しているということに関心をもつ。	・コンビニエンスストアをどこに开店させれば良いのだろうか。
第2次	1 本時 1/1	(2) わたしたちの消費生活 ・ある消費者の家計簿から問題点と改善点を考える。	思 生活を維持・向上させるためには、計画性をもった消費活動が大切なことを考えることができる。	・かしこい消費者になるためにはどうしたらいいのか。
第3次	1	(3) 消費者の権利 ・ある消費者のトラブルをもとに問題点と改善点を考える。	技 消費者問題の具体的な事例から、トラブルが発生する原因を考えることができる。 思 消費者問題を解決するための方策を考えることができる。	・自立した消費者になるにはどうしたらいいのか。
第4次	1	(4) 消費生活を支える流通 ・商品がどのように届くのかを野菜が消費者に届くまでを例に考える。	技 流通の合理化を野菜の流通の例から読み取ることができる。 思 経済活動において流通が果たす役割を考えることができる。	・商品の流通が果たす役割とは何か。

5 本時について（1／1時間目）

（1） 本時の目標

生活を維持・向上させるためには、計画性をもった消費活動が大切なことを考えることができる。

（2） 本時の評価規準

観 点	評価規準（B）	評価方法	（B）を達成しない生徒への手立て
社会的な思考・判断・表現	生徒のノート記述の内容から「かしこい消費者になるためには、よく考えて買い物をしなければならない」というような記述が見られる。	・発言 ・ノート ・テスト	記述に必要なキーワードが板書の中にあることを伝え、どのキーワードが使えるようか考えさせる。

（3） 本時の展開（別紙参照）

本時の展開

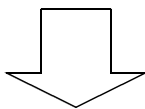
段階	学習活動と学習内容（☆覚えさせたい用語）	指導上の留意点（○） 評価（◇） 言語活動（*）
導入 10	<p>1 学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クレジットカードの発行枚数と利用額」と「自己破産件数」の2つの資料から読み取りをする。 ☆クレジットカード ☆自己破産 	<p>○「クレジットカードの発行枚数と利用額」からは、発行枚数と利用額が増えていることを読み取らせ、便利さを理由にクレジットカードを所持する人が増えていることをつかませる。</p> <p>○「自己破産件数」からは、自己破産について軽くふれるとともに、件数が増えていることを読み取らせ、自分にも起こりうる状況であることをつかませる。</p> <p>○2つの資料を関連させ、どうすれば自己破産しないですむのかを考えながら、課題につなげる。</p> <p>関資料から分類の観点を見つけ出そうとしている。（挙手）</p>
展開 30	<p>かしこい消費者になるためにはどうすればいいのだろうか？</p> <p>3 課題に対する予想をたてる。 自分の考えをもつ。 ☆消費者</p> <p>4 具体的な事例から問題点や改善点を見つける。 ・「盛岡の22歳男性の1ヶ月の家計簿」から問題点や改善点を見つける。 ☆家計 ☆所得 ☆消費支出</p> <p>5 問題点や改善点をグループで共有し、個人の考えを発展させる。 ・個人で見つけた問題点や改善点をグループでまとめ、より良い意見にする。</p> <p>6 クラス全体で教科書を使い、確かめる。 ・自分たちで見つけた問題点や改善点が「かしこい消費者」になるために本当に必要なことか確かめる。 ☆商品の選択 ☆貯蓄</p> <p>7 自分の考えをまとめる。</p>	<p>*パーソナルワーク ○時間を意識して書かせる。 ○全員に予想をたてさせる。 ○「無駄遣いをしない」や「よく考えて必要な物を買う」などの予想を出させる。</p> <p>*パーソナルワーク ○資料を使い重要な語句を説明してから取り組ませる。 ○収入より多くの買い物をしている、無駄遣いが多い、クレジットカードでの支払いが多い、携帯電話を使いすぎているなどの問題点に気付かせる。</p> <p>*グループワーク ○同じような意見は1つにまとめさせ、根拠も明らかにさせる。 (例)・所得より多く支出すると借金が多くなる ・クレジットカードは立てかえて払ってもらっているの、借金と同じ</p> <p>*クラスワーク ○自分たちが考えた問題点や改善点が本当に正しい考えなのかを教科書を使って確かめさせる。 ・限られた収入と時間の範囲で、ほんとうに必要な商品の選択を行う。 ・限られた収入を有効に活用するためには、消費と貯蓄への配分を合理的に行う。 ・クレジットカードを使うときは、現在の収入だけでなく、将来の収入についても正しい見通しを立て、計画的に使う。</p>
30	<p>かしこい消費者になるためには、よく考えて買い物をしなければならない</p>	<p>思 上記のような記述をしているか評価する。（ノート）</p>
終結 10	<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>9 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○本時の学習を通してわかったことや気付いたことを自由に書かせる。</p> <p>○計画的に消費生活をしていてもトラブルに巻き込まれることがあることを伝える。</p>

(2) わたしたちの消費生活

学習課題：かしこい消費者になるためには、どうすればいいだろう？

クレジットカードの発行枚数と利用額

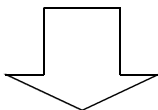
発行枚数と利用額が
ともに増えている



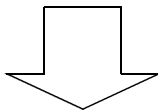
便利だから
ポイントがつくから

自己破産件数

自己破産する人が
10年間で4倍以上
になっている



原因：クレジットカードの
使いすぎなど



どうすれば、自己
破産しなくてすむ
かなあ？

盛岡の22歳男性の1ヶ月の家計簿

【問題点】

- ・収入より多い買い物をしている
- ・クレジットカードでの買い物が多
- ・生活に必要な物をたくさん買
- ・友だちとの付き合いが多い
- ・携帯電話使いすぎ

【改善点】

- ・クレジットカードで買い物をしない
- ・いらない物は買わない
- ・携帯電話の使い方を改善する
- ・将来のために貯蓄する分をのこす

【かしこい消費者になるために大切なことは…】

- ・本当に必要な物か（選択）
- ・将来のことを考えているか（貯蓄）
- ・クレジットカードを使いすぎしていないか（計画性）
（借金しすぎしていないか）

よく考えて買い物を
する